

(様式3)

目標達成計画

事業所名 グループホーム さわらび

作成日: 平成 31年 4月 8日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4(3)	参加メンバーを再考する中で、隣接する保育園、体育館の職員に参加を打診したが実現しなかった。共通の課題である防災をテーマとして、開催日程を柔軟にすり合わせることで参加が可能になるのではないだろうか。また、日頃から付き合いのある他事業所の管理者等と会議への相互参加を行なうなど、多様な参加者の意見を聴取して運営に活かしていくことを期待したい。	運営推進会議における内容の充実を図ることでより具体的な内容で話し合う事ができ、地域との情報共有や交流が継続できる。	・地域行事の中心となる北友会の事務局に運営推進会議の趣旨の説明、今後必要になってくるであろう防災についての課題を相談しつつ参加を打診する。その後に保育所や地域住民等にも同様に声をかけていき、多様なメンバーを増やすよう努める。	12ヶ月
2	24 (9-2)	基本情報を記載するシートの内容に生活歴の項目が確認できなかった。利用者のこれまでの暮らしや馴染みの人、場所などを把握することは事業所での生活を豊かにするために必須の情報である。情報を集約できるような様式の検討を期待したい。	ご利用者の生活歴や思い等これからの生活に必要な情報が集約された基本情報を活かして日々のケアを行うことができる。	・現在使用中のシートには何が不足しているのか、不要な項目はないか等の見直しをする。	6ヶ月
3	26 (10)	毎月モニタリングを行なっているが、家族に利用者の状況を報告しているそのままの内容のものであり、介護計画の課題やサービスに対する評価とはなっていない。一連のサイクルの中でケアマネジメントが連動するように、様式の検討期待したい。	生活の全体的なモニタリングとしてご家族への報告は継続しつつ、ケアマネジメントに連動したモニタリングも行う事で根拠に基づいた必要なケアが可能になり、よりご利用者の生活が豊かになる。	・現在の様式や方法を見直してアセスメント、ケアプラン、モニタリングが連動するような様式を検討する。 ・新しい様式を日々のケアに活かせるよう、職員1人1人がその意味を理解し取り組む努力をする。	12ヶ月
4	35 (13)	有事の際に相互に協力が得られるよう、少なくとも隣接する公民館や保育園との話し合いを継続してほしい。併せて、昨今の自然災害の発生状況に鑑みて、風水、雪、雷、停電などを想定した訓練を計画し実施することを期待したい。	地域を巻き込んだ避難訓練を実施していくことで互いに問題点を認識し、地域との協力体制を築くことができる。	・今年度を実施した避難訓練の反省を活かして次回の避難訓練を計画する。 ・運営推進会議メンバーや利用者家族にも参加や見学を呼び掛け、課題を出し合う。 ・保育所も合同で避難訓練が実施できるよう、継続して相談や提案をしていく。	12ヶ月
5					ヶ月